

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙・「みらい」
NO. 3783
17年8月29日(火)
・Fax 095-828-1953

関東大震災、日本人はなぜ朝鮮人を殺したのか

おはようございます。
都民ファーストの会の小池都知事が、関東大震災で殺された朝鮮人の追悼式に、追悼文を今年はお出しなさいという。去年までは出してきたのに。確かに、ファーストという言葉は、セカンドなしにはあり得ない。ここではセカンド的な？在日朝鮮人とは付き合えないという小池知事のメッセージだろっか。

その関東大震災は一九三一年(大正十一年)九月一日に起きた。地震の規模は日本ではそれほどではないが、被害は非常に大きかった。死者・行方不明者が十万人、倒壊と消失家屋が二十五万家となる。

この理由は、震源が地盤の弱い東京湾沿いであり、また発生時刻が十二時前で、昼食の準備中で火災が多発した。そして何よりも人口密集地だったことなどだ。



震災直後、国は戒厳令を敷き、警視庁は全国に「不逞朝鮮人取締り」を打電し、国民の間にも、「朝鮮人が暴動を起こした」とか「井戸に毒薬を投げ込んだ」とかの流言飛語が飛び交い、関東地区だけで二六八九の自警団が作られ、興奮した人々の手によって、多くの朝鮮人、中国人らが虐殺された、と歴史書には書く(昭和の歴史「小学館」)。ある統計ではその数は五千人におよぶともある。

俳優で舞台監督だった千田是也はこの地震のとき早稲田の学生だった。彼は千駄ヶ谷の自宅付近で自警団につきまり、教育勅語や歴代天皇の名前を言わせられた(日本人の証明のため)という。結局、知人の証明で何とか命拾いをしたが、この苦名はこのときの苦い体験により、センダガヤのコレアン(朝鮮人)をもじったとの逸話がある。



戒厳令下で起きた朝鮮人虐殺は、国と自治体の責任である。追悼集会で犠牲者を追悼するのは都の最高責任者として当然のことである。小池知事の朝鮮人追悼式を無視する政治姿勢は、日本国民会議所所属政治家の本質でもあるが、許されない不当なものである。

この関東大震災から二か月後の十一月十六日に、天皇が「国民精神作興に関する詔詞」を出す。端的にいえば、「国民精神が退廃し、警沢に

走り、危険思想が蔓延したから、天が罰を与えたのだ」という戒めの言葉で、震災天罰論だった。

これは先の東日本大震災でもいわれた。右派で名高い石原元都知事や俳優の伊東四郎らが天罰などを言ったが、地球の自然現象を神の罰だとは非文明の石器時代ではあるまいし、根拠のないことをいう無責任な扇動者たちは、今も昔もいる。

このとき、命を賭して朝鮮人を守った人がいる。神奈川県鶴見市の警察署長だった大川常吉氏である。震災直後、日本人の襲撃から逃げ、警署に逃げ込んだ三百人の朝鮮人がいた。警察署を取り囲んだ三千人の自警団は、引き渡しを要求するが、大川署長は朝鮮人が投げ込んだ毒入りの井戸水をもってこい。おれが飲んでやる。もし異常があれば私に預けよ」と説得し、この三百人は奇跡的に殺されずに済む。



戦後、地元ではこの話が教科書にも載り、在日の子孫が感謝のために「大川常吉顕彰の碑」を建てる。私も鶴見市の東漸寺にある顕彰碑を訪ねたことがあるが、小さい顕彰碑は輝いていた。しかしこの事件への批判が警察内部では強く、大川は定年前に警官を辞職せざるを得なく、余生は町内会長として人のために生きてきたとある。



だが、このときなぜ、朝鮮人の襲撃という「デマ」を日本人はいとも簡単に信じたのだらうか。それが本当は一番問題であるが、あまり書かれたものはない。根はアジア人蔑視の排外主義にあるのだ・・・。

戦前、日本は朝鮮を植民地支配していた。近年、満州国や朝鮮支配についてこれを否定する論があるが、これは加害を隠す歴史の修正である。なぜならば当時のこの地域にも日本の治安維持法が適用され、支配の事実があるからだ。

歴史では、この震災の三年前に、朝鮮独立のための「三一運動」が朝鮮全土で起こり、さらにその二年前の一九一七

年にはロシア革命がおき、日本も米騒動から自由民権運動や社会主義運動が隆盛となり世は大正デモクラシー期にあった。だから国民の反乱を恐れた天皇制国家が、震災を機に戒厳令で不逞分子の取り締まりを目的に、朝鮮人や日本の社会主義者を殺したのだ。



今年はこの大震災から九十四年目だ。これだけの時間がたつても、在日朝鮮人や近隣アジア諸国との関係は極めて緊張しており、相互不信は根深い。なぜだろう。

日本は周辺国と有史以来、友好と戦争をくり返してきた。近年では植民支配をしてきた宗主国としての加害の日本がある。この事実を正しく認め、反省と友好の政治と、関係が求められる。この国民の意識が未来の友好の礎だ。

あらためていま、東南海地震や関東大震災の到来の予言がある。震災と被害、騒動が起きて、日本国民として正しく生きるために、この歴史をいまもう一度学ぶべきである。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。